

7月東京盆出荷向け黄色小ギク新品種候補「ひたち24号」(仮称)の育成

[要約]

小ギク「ひたち24号」は季咲きで7月上旬から下旬に開花する黄色系統で、7月東京盆出荷向けに適する。花色がよく、花と葉のバランスに優れるため市場性評価が高く、作りやすさや茎葉色が優れ、白さび病発生が少ないため生産者評価が高い。

茨城県農業総合センター生物工学研究所 " 園芸研究所	令和5年度	成果 区分	普及
-------------------------------	-------	----------	----

1. 背景・ねらい

茨城県の小ギクは、県内の切り花品目では産出額が第1位、全国にも栽培面積が第2位、出荷量が第4位(いずれもR1)のシェアを占める重要な花き品目である。生産現場からは、茨城県の気候で物日出荷でき、白さび病の発生が少ない品種育成が求められており、これらの要望を満たす県オリジナル品種を育成する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 平成29年に得られた「常陸サマーライト」の自然交雑種子から選抜した系統である。
- 2) 花色はRHSカラーチャートで9Aの黄色である(図1、表1)。
- 3) 季咲き栽培での開花時期は7月上旬から下旬であり、「常陸サマーライト」と比較して開花時期が3日程度遅く、より7月東京盆出荷に適する(表1)。
- 4) 「常陸サマーライト」と比較して、切花長、切り花重は同等である(表1)。
- 5) 市場性評価では、花色・葉色・ボリューム感・フラワーフォーメーション(FF)・総合評価において、回答者の8割以上が「良い」または「やや良い」と評価している(図2)。また、「取扱い(品種化)要望」の項目に回答した18名が取扱い(品種化)を希望している(データ略)。
- 6) 現地適応性試験では、フォーメーションが良く、総合的にも高く評価され、生産者5名中4名が導入を希望している(表2)。また、現地試験担当者は「高温遅延しにくい」、「下葉枯れが多い年だが、この系統は下葉枯れが少なめ」等の評価をしている。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) ほ場の水はけが悪い場合や冠水した場合、下葉枯れや生育不良が発生することがある。
- 2) 令和6年に品種登録出願予定である。
- 3) 種苗は、(公社)茨城県農林振興公社において令和6年秋以降に配布される予定である。
- 4) 普及対象：県内の小ギク主要産地

